

○平成 25 年度



5月、4年生は大豆の種まきをし、ポットで苗を育てました。大豆は鳥の大好物なので、芽が出る前に食べられないように注意しなければならないそうです。ベランダで大事に育て、6月には支援員さんに教わりながら、畑に苗を植えました。

今年はどこでも豆類の育ちがよくなかったそうですが、秋にはたくさんの実をつけてくれました。枝豆として食べたり、打ち豆にして味噌汁に入れて食べたりしました。



8月、3年生はジャガイモ掘りをしました。5月に植えた種芋からはぐんぐん茎が伸び、6月には「芽かき」という作業をしました。もったいないような気もしましたが、支援員さんから、大きなジャガイモを育てるための大事な仕事だということを教えていただきました。夏には、きれいな紫色の花が咲きました。そして収穫の日。茎をゆっくり引っ張ると、土の中からごろごろとジャガイモが出てきました。みんなで食べたじゃがバターは最高でした。



10月、1・2年生はサツマイモ掘りをしました。夏には、大きなサツマイモが育つように、汗をかきながら草むしりをしました。秋には雨の日が続きましたが、天気のよい日にみんなで畑に行きました。サツマイモに傷をつけないように、やさしく手で掘りました。なかなか出てきてくれないのもあって、友達といっしょに交代しながら掘りました。腕や足より太いサツマイモがたくさんとれて、びっくりしました。収穫祭では、全校生でおいしく食べました。



5・6年生は、水稻を育てました。4月には支援員さんに教えていただきながら、種まきをしました。

田植えの後には田んぼに何度も出かけ、苗の生長の様子を観察しました。生えやすい雑草や水稻につく害虫、かかりやすい病気などについても支援員さんに教えていただき、とても勉強になりました。10月には、黄金色の穂をつけた稲をみんなで腰をかがめて刈りました。精米していただいて収穫祭で食べた新米は、とても甘かったです。